

[参考資料]

I 山行苗木規格表

樹種	苗木齢	規格別	規格	
			苗木長	根元径
実生すぎ	2	1～2号	35～65 ^{cm}	6上 ^{mm}
さし木すぎ (県内産精英樹)				
ひのき	2	1号	45上	7上
		2号	35上	5上
	3	1号	45上	7上
		2号	35上	6上
あかまつ	2	1号	20上	6上
くろまつ	2	1号	20上	6上
くぬぎ	1～2	1号	40上	8上
	1～2	2号	40上	6上
やしゅぶし	1	1号	30上	3上

- (注)
- 無病健全で奇形，ふたまた，根部発育不良等の欠点のない苗木である。
 - 配布される苗木には，林業種苗法第18条に規定する表示票が添付されていること。
 - 苗木は厳正に選別し，規格に違反した苗木又は欠点のある苗木が配布された場合は，速やかに愛媛県森林組合連合会又は生産者に連絡し，その事実を確認させたうえで再選別又は返品等の措置をとるものとする。

II よい苗木をつくるには

1 1年生苗（毛苗）

- 仕立本数（秋季生長休止後の本数）

◇ 1 m ² 当り	スギ	500本～600本
	ヒノキ	500本～600本

この本数になるよう間引きを励行する。

- 毛苗の大きさ（1回床替2年生苗木をつくる場合）

スギ 10 cm～15 cm

ヒノキ 12 cm～18 cm

この大きさになるよう肥培管理，根切りを行う。

2 2年生苗（山行苗）

床替本数

◇ 1 m ² 当り	スギ	42本
	ヒノキ	42本

◇ 10アール当り	スギ	30,000本
	ヒノキ	30,000本

根張り・枝張りの良い苗木をつくるには，これ以上密になってはいけない。

3 施肥

チッソ肥料は8月末までに止め，秋生長の止った頃，弁当肥としてチッソとカリを追肥する。

4 根切り（山行苗）

秋伸び（徒長）防ぎ細根を発達させるために，根切りの深さ12 cmぐらいで9月中までに行う。

Ⅲ 苗木輸送用C T Mダンボール箱

国有林の造林事業は、ほとんどC T Mダンボール箱によって輸送が行われており、造林成績も良いといわれている。

この箱に入れられた苗木は休暇状態が維持されるため比較的長い日数の輸送・運搬期間に耐えられ、箱を開かない限り仮植を要しない等、利点は大きいので今後利用されてよい方法である。

ただし、現状では箱の代価がやゝ高価であるのが難点である。

[C T Mダンボール箱梱包の注意事項]

- ① 水の付いた苗木は絶対に箱詰めしてはならない。
- ② 根部の土はふるい落してしまう。
- ③ 箱の中には苗木以外のものは決して入れてはならない。
- ④ 苗木を入れて密封した箱は直射日光や雨にあててはならない。
- ⑤ 一週間に1回は天地返しをする必要がある。
- ⑥ トラック等で輸送する場合は4段までとし、それ以上積み重ねないようにする。
- ⑦ 箱詰めした苗木は30日以内に植付けを完了するようにする。